

2024年11月17日（日）開催 「日本と世界が出会うまち・堺 2024」研究発表会 プログラム
開催方法→「大阪大学南部陽一郎ホール」「ZOOM」ハイブリッド開催

時間割				※中学グループの持ち時間15分→発表12分以内、質疑応答3分 ※高校グループの持ち時間20分→発表15分以内、質疑応答5分				
				No	学校	グループ名	生徒数	テーマ
12:45	～	13:00		堺市博物館・須藤館長開会の挨拶～開催にあたっての連絡事項_15分				
13:00	～	13:15	1	中01	雲雀丘学園中学校	華津紫果（かつしか）	4	堺緞通
緞通とは模様のある厚手の敷物です。そして、堺緞通は堺の糸物商藤本庄左衛門が泉利兵衛に織らせて堺緞通として売り出したのが始まりだと言われています。しかし、そんな堺緞通の最後の名人と呼ばれる辻林白峰（本名：辻林峯太郎）氏が亡くなり、現在はその方の弟子一人しかいません。私たちは、今消えつつある堺緞通は伝承されているのか？なぜ一時は、海外にも販売をしていたのに衰退していったのか？ということをも外国の緞通や絨毯と比べながら調べたいと思います。								
13:15	～	13:30	2	中02	神戸大学附属中等教育学校	ボタン鍋（仮）	3	都市の国際比較
現在、発表概要調整中								
13:30	～	13:45	3	中03	雲雀丘学園中学校	まさるすけ	3	世界で再ブレイク！？ 堺の注染！
藍染めが主流だった江戸時代、多色使いができた注染染めや植物や動物の天然塗料を使う更紗染めが堺で発展しました。注染は色鮮やかなグラデーション、更紗染めは他の日本の染物より派手な柄が特徴でした。更紗染めはインドで発達した染め方であるが、日本独自の柄である和更紗が発達し、堺ではその和更紗の中でもより派手な色の堺更紗染めが発達しました。注染染めでは多色染めやグラデーションが特徴である色褪せにくい染めが、同じ時代に東京本染めも発達し日本の染物の歴史に新しい風を吹き込みました。更紗染めは、堺更紗染めと他の国の更紗染めや同じ国の更紗染めの違い、注染染めでは、実際角野晒染株式会社にフィールドワークに行き、注染染め体験をしようと思います。そして発祥地の堺よりも東京の東京本染の人気の高いという問題点についてどう考えているか、いま他にどのような課題があるかについて聞き、探究したい。								
13:45	～	14:00	4	中04	関西大学中部	フィールドワーク部 歴史班	6	和歌山・三尾村から カナダに渡った人々 その2
私たちは昨年の大会で発表した和歌山県日高郡美浜町三尾からカナダのブリティッシュ・コロンビア州に渡った移民の人々について継続研究したことを発表します。今回は、昨年の大会で審査員の先生方から研究不足の指摘があった、カナダのブリティッシュ・コロンビア州側が三尾の人々を含む多くの日本人移民を受け入れた理由、移民を必要とした要因（プル要因）を詳しく探究し、さらに三尾の人々が現地で受けた日本人移民への差別、第二次世界大戦時にカナダの敵国となった日本の移民たちの処遇について、戦後帰国した人々のその後について調べたことを発表したいと思います。また、5月に三尾で行われた日本人移民の国際シンポジウム、そして6月に開催され私たちも参加した日本移民学会のシンポジウムの内容を踏まえて発表したいと思います。								

14:00	～	14:15	5	中05	帝塚山学院中学校	歴史研究部 A crystallite	8	与謝野晶子と女性運動
私たち帝塚山学院中学校歴史研究部は、堺出身で詩人や女性運動家として有名な与謝野晶子を、女性運動を中心に調べます。私たちは晶子の活躍は現代の女性問題を考える手掛かりになると考えています。また、特に有名な晶子と平塚らいてうの女性保護論争が興味深く、注目したいと思います。これから調べていくにあたって、当時の日本と外国の比較を意識していこうと思います。								
14:15	～	14:30	6	中06	堺市立三国丘中学校	郷土研究部	9	堺から日本に広がったもの
堺は昔から海外との貿易が栄んで、鉄砲、包丁などたくさんの物が堺から広まっています。そのような、堺発祥の物がどういう経緯で日本に広まっていったのか。ということ进行调查します。								
14:30	～	14:45	7	中07	大阪教育大学附属天王寺中学校	社会研究班	3	堺の伝統産業
堺市の堺打ち刃物以外にも、日本では新潟県三条市、岐阜県関市で刃物産業が、世界ではドイツのゾーリンゲン、イギリスのシェフィールドでナイフやカトラリーなどの金属加工業が盛んであることがわかりました。私たちの研究ではそれらの（日本と世界）産地と堺に様々な共通点や相違点（近くに海があるなど）を地理や歴史など様々な面から見出し、堺でなぜ刃物産業が発達したのか、刃物産業が発達するためにはどのような条件が必要なのかという疑問について、自分たちなりに結論を出したいと考えています。そこからさらに、これから堺の刃物産業がより発達するためには、どのようなことを行う必要があるのか考えたいです。								
14:45	～	15:00		休憩及び準備_15分				
15:00	～	15:20	8	高01	箕面自由学園高等学校	チームT1	7	堺と北摂の古墳の比較
私たちが住む北摂地域の古墳は堺市にあるものと比較して、中小規模のものが多いという特徴があります。同じ府内の古墳にもかかわらず、大きな違いがあるのはなぜなのでしょう？古墳の築造時期や形態、規模、埋葬品などを比較し、両地域における政治的・経済的な時代背景や古墳時代における両地域の位置づけやつながりを考察します。								
15:20	～	15:40	9	高02	帝塚山学院高等学校	歴史研究部 行基ッズ！	9	堺の土塔と行基
私たちは、堺市の出身で奈良時代に活躍した僧、行基を取り上げます。平安時代末期に書かれた「行基年譜」によると、行基は堺に土塔を造ったとされており、この土塔は現在も遺跡として保存されています。土塔とは、土で造られた仏塔であり、日本に類例がない謎の多い建造物です。なぜ日本に一つしかないのでしょうか。またどこからインスピレーションを受けたのでしょうか。私たちは、このような土塔の謎に、海外の宗教遺跡との比較を意識しながら迫りたいと考えています。								
15:40	～	16:00	10	高03	桃山学院高等学校	MOMOKIN	5	金魚がつかない堺と世界
1502年室町時代末期に明からもたらされたといわれる金魚。当時は「こがねうを」と呼ばれており、魔除けとしての意味もあったという。同じ観賞魚として国内で既に人気のあったメダカや錦鯉との扱いの違いやその当時なぜ金魚が広まったのかについて触れる。金魚の鑑賞方法や金魚の持つ美しさ以外の役割を、歴史的な背景や堺という当時の異文化交流の最先端の地とも関連させて考察を深めたい。室町時代は貴族や有力商人など限られた人のみに飼育されていた金魚だったが、江戸時代から急速に庶民に広がった背景について追求する。中国で起こった文化大革命の影響により金魚が中国から一斉に姿を消したため日本から逆輸入された理由も調べたい。堺から全国に広まった金魚だが現在ではあまり名前を聞かなくなった理由や日本でより美しく洗礼された金魚が堺から外国に広がったのか、海外でどのように受け入れられたのかにも触れる。								

16:00	～	16:20	11	高04	桃山学院高等学校	さかいめ研究部	4	堺幕府は果たして幕府と言えるのか!?
大永7年（1527年）から享禄5年（1532年）にかけて、足利義維（よしつな）は堺で異母兄の将軍足利義晴と対峙し、堺公方や堺大樹と呼ばれた。足利義維は朝廷から将軍に準ずる待遇を受け、幕府同様に文書を発給していたことから、その体制を堺幕府と呼ぶこともあるそうだ。しかし、この堺幕府に関する資料や先行研究は少なく、その本拠地さえ堺の金蓮寺や願本寺など諸説あることなどから、その実態はよく分かっていないというのが現状である。今回この堺幕府の勢力基盤・同時期の各勢力との関係や動向・堺幕府の政権としての連続性などの側面から、その実態に迫ってみたいと考えている。さらに堺幕府のような短命に終わった政権を、世界の短命政権などと比較検討してみたいとも考えている。								
16:20	～	16:40	12	高05	関西大学高等部	フィールドワーク部 歴史班	8	ハマデラソウと牧野富太郎
私たちはハマデラソウという堺市由来の外来植物と、その和名をつけた「日本の植物学の父」牧野富太郎の活動について調査研究発表したいと考えています。牧野については、彼とその夫人をモデルとした昨年の連続テレビ小説「らんまん」が放映され話題となり、知名度がとても上がりました。牧野は東京帝国大学の助手として植物学の研究をしていたことは有名ですが、東京と神戸を幾度も往復し研究活動をしていたことは余り知られていません。神戸市兵庫区の会下山に「池長植物研究所」を設立。ここを拠点に関西で活動していたのです。その一環としてハマデラソウの命名に至ったと考えられます。ハマデラソウは外来種ですが繁殖力が弱く、現在、堺市の団体が保護し育てていることを知りました。ハマデラソウの発見と命名の経緯をたどるとともに、牧野の関西における研究活動、牧野の研究の世界性について探っていきたいと考えています。								
16:40	～	17:00	13	高06	箕面自由学園高等学校	チームS4	5	堺と北摂の発展の歴史の比較
堺市は、古墳や日明貿易の根拠地としての発展、織田信長による支配など、日本史の教科書の様々な箇所記載されており、太字にもなっている歴史的に重要な都市として位置づけられています。一方、北摂地域は教科書には登場していないものの、現在住みたい街ランキングで大阪府の上位を占めています。両地域の経済的・政治的・社会的発展の歴史を比較することで、地域の発展に必要な要素を明らかにします。そして、これからどの地域が発展するのかを考察します。								
17:00	～	17:15		休憩及び審査_15分				
17:15	～	17:30		審査結果発表、古屋審査委員長講評、須藤館長閉会の挨拶_15分				
参加生徒数							74	